

# 令和3年度前期 京都市立九条中学校 学校評価結果

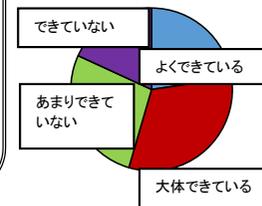


令和3年9月17日  
京都市立九条中学校  
校長 三科 俊一

## 前期学校評価を報告をします

令和3年度前期学校評価を実施しました。保護者の皆様にはアンケートのご協力をいただき、誠にありがとうございました。ご一読いただき、今後とも本校教育にご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。なお、本校の「学校目標・学校経営方針」に視点をおいて報告いたします。また、学校運営協議会にも報告し、ご意見をいただきます。

## グラフの見方



## 生徒アンケート集計結果(単位 %)

※グラフは実現度を記載しています。

<p>① 課題の解決に向けて、自分で考え、取り組むこと</p>	<p>② 自分の考えなどを工夫して発表すること</p>	<p>③ 学校で基礎的・基本的な学習が定着できること</p>	<p>④ 普段の日に、予習や復習など自主的に家庭学習に取り組むこと</p>	<p>⑤ 総合的な学習で、すすんで課題に取り組み発表すること</p>	<p>⑥ 学校に行くことが楽しい</p>	<p>⑦ 相手のよい面を認め、思いやりの心を持つ</p>	<p>⑧ いじめはどんな理由があってもいけない</p>
<p>⑨ 人が困っているとき進んで助けること</p>	<p>⑩ 自分には良いところがある</p>	<p>⑪ 進んで挨拶をすること</p>	<p>⑫ 学校の決まりやルールを守ること</p>	<p>⑬ なにごとも失敗を恐れず挑戦すること</p>	<p>⑭ 将来の夢や目標をもつこと</p>	<p>⑮ 健康な体づくりやスポーツに取り組むこと</p>	<p>⑯ 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を身につけること</p>
<p>⑰ ゲームや携帯電話・スマホなどの使用時間を適切にコントロールすること</p>	<p>⑱ 翌日に疲れを残さない睡眠時間を確保すること</p>	<p>⑲ 地域の行事や社会の活動などに取り組むこと</p>	<p><b>【生徒アンケートより】</b> 本校の学校目標は、「豊かな心と知性をそなえ、自らの未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成」である。生徒が示したアンケート結果は、本校が目標達成するための重要な指標である。「豊かな知性を育むための活動」につながる設問①～⑤については、「よくできていた・だいたいできていた」の回答が53.4%から79.7%の範囲となった。「基礎基本の学習の定着」は79.7%と比較的多くの生徒が実現しているが、「予習や復習など自主的な家庭学習」については54.0%と弱さが見られる。また、「自分の考えを発表すること」は昨年度の同時期に比べて12.8%上昇し、コロナ下での発表の工夫が見られた。「豊かな心を育む場」としての指標⑥～⑫をみると、82.2%の生徒にとって学校は「楽しい」といえることがわかる。また、「思いやりの心」「困っている人を助ける」についても80%を越え、「いじめはいけない」ことについては96.9%の生徒が「出来ている」と答えている。「たくましく生きる」ためには「自律」する力が必要となる。⑬～⑱をみると、71.8%の生徒が「基本的な生活習慣」を身につけていると答えているが、昨年度と比較すると9.3%減少し、この原因を考えていく必要がある。全体的には「自分には良いところがある」と自己肯定感を持てる生徒が73.5%、「なにごとも挑戦できる生徒」が72.9%、「将来の夢や目標」を持てる生徒が71.4%という結果であった。これらのアンケートの結果をもとに教育活動を改善し、後期の学校評価アンケートでさらなる検証をすすめたい。</p>				